

真実かどうか

みんな公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

この大会で機関誌を発行することが決議されました。かくして1912年9月「The Rotarian」と改名し、今日まで続いています。17年間はチェスリー・ペリー事務総長自ら編集に当たりました。

1912年、ミネソタ州ダグラスにおける大会には41クラブから代表が集まり、カナダからも出席があり、名称がロータリークラブ国際連合会と改められ、グレン・ミードがその初代会長に、ポール・ハリスは名誉会長に推されました。その時のクラブ数は50、会員数は5,000人とあり、ここで初めて、ディビジョンが設けられ、アメリカ合衆国に5 カナダに2 グレートブリテンおよびアイルランドに1と計8地区が置かれました。その後1915年7月、その時の186クラブを、更に19の地区に分割し、番号を付けて、それぞれにガバナーを置いたのです。

1914年、第1次世界大戦が始まると、ヨーロッパへの新クラブの設立は途絶えましたが、西のホノリウにクラブが出来ました。先にシカゴの会員がキューバでのロータリークラブ設立に失敗し、ロータリーはアングロサクソン民族だけに通用する理念ではなからうかと心配されたのですが、1916年、フロリダのタンパクラブの会員の働きで、ババにクラブが出来たのです。このクラブは英語を話さない国での最初のクラブで、すでに国境を破っていたロータリーは、ここでまた言語の垣根を破り、余勢を買ってラテン民族の南米諸国に広がることになりました。この年、アメリカでは各クラブの出席率競争が始められたのです。

1917年、アトランタ国際大会で会長のアーチ・クランフは教育に奉仕するための基金をつくる必要を強調し、Rotary Endowmentを設けましたが、これが後にロータリー財団になったのです。この年、カナダ人のレスリー・ビジョンが会長となってアメリカ人以外からの会長の皮切りとなり、その後、同じ国から引き続いて3人以上は会長は出さないということになりました。

ロータリーは太平洋を超えてマニラ、上海、カルカッタと進み、1920年には日本へ入って、東京クラブが出来ました。そして1920年にスペインのマドリッドに出来たのが、ヨーロッパ大陸に印した最初のロータリークラブの足跡だとされています。

1919年、地区ガバナーの会議がインターナショナル・カウンシルと称されたが、これが後に、ガバナー・ノミニーを教育する国際協議会となったのです。

1921年、カナダのカルガリークラブのジェームス・デビットソンらによってメルボルン、ウェリントンにクラブが、更に、ヨハネスブルクにも作られました。この年、国際大会が初めてアメリカを離れ、スコットランドのエディンバラで開かれましたが、「これまで外国への使節団といえれば政治か通商かの目的をもったものに限られていたが、我々はただ人間としてやって来た」と、「平和と善意」が、ここで「ロータリーの綱領」に加えられたのです。かねてから、すべてのロー

タリークラブを律する一定の定款・細則が欲しいと言われており、当時25の全地区から各1人、それに会長、事務総長と会長指名の4人、合計31人で構成する委員会が出来ました。1922年のロサンゼルス国際大会で決定されましたが、後に少し修正され、そのまま今日の標準定款・推奨細則となっています。出席にメイクアップが認められたのもこの時からです。

1922年、ロサンゼルス国際大会で、ロータリークラブ国際連合会も、その名称を国際ロータリー“Rotary International”と改められました。

(決議23-34)

ロータリーはその成立以来、一貫して職業に関する道義の向上をうたってきましたが、1913年、ミード会長がロサンゼルスクラブの例をあげて、社会奉仕を奨励し、また、エドガー・アレンの提唱した身体不自由児の施療訓練運動がアメリカ各州に及んで、ついに、それが国際身体不自由児協会に発展してロータリーの看板事業になると、各クラブは社会奉仕を競い、行き過ぎて慈善クラブと変わらぬものも出来てきました。

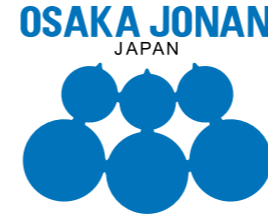
そこでロータリーの1業種1人制は職業を通じての奉仕によってのみ意義あるものとするものは、この際、社会奉仕の頂を綱領から削除すべし、と極論するようになったのです。

しかし、ロータリーの理想の実現には、まず、社会において認められることが先決で、それには社会奉仕を実行する必要があるという現実論も有力で、それがまた、期せずして大都会のクラブと中小都市のクラブとの対立ともなって現れてきました。更に社会奉仕の主体をクラブに置か、会員個々の活動に任せるかについて、いわゆる、I Serve or We Serveが論争され、やがてこれらの対立がロータリーの分裂の危機をはらむに至り、ついに1923年、セントルイス国際大会で34号決議(決議23-34)が出来たのです。(手続要覧P79~81)これは先ずロータリーの奉仕の哲学を説き、社会奉仕活動が個人に限らず団体としても望ましいと述べ、それを行う場合、その地域社会に求められているものは何かを調査し、それをなすべき機関や施設があるか否かを確認し、あればそれに協力し、強化することで二重化を避け、なければ適当な企画を立て、途中で挫折しないよう注意して行うべしというものです。

このようにして、ロータリーは時に生ずる、相反する利害や意見の対立も友愛の雰囲気の中でうまく妥協融和せしめる能力を持っていることが証せられたと言われているのです。

(参考文献「ロータリーの友」2002年1月より6月号「ロータリー・モザイク」(ハロルド・トーマス著)、「ロータリーの理想と友愛」(ポール・ハリスの有名な著作である“ This Rotarian Age ”を日本のロータリー運動の創始者である、米山梅吉氏が1936年に翻訳初版出版されたもの))

(編集担当 尾崎)



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

創立 1969年5月30日 会 長 朝倉 良
幹 事 成瀬 俊昭 会報委員長 西谷雅之

Sow the Seeds of Love

慈愛の種を播きましょう
2002~2003年度RI会長 ビチャイ・ラタクル

No. 1636
2002-8-9

RI 第2660地区
大阪城南ロータリークラブ

事務所 (株)近鉄百貨店 上本町店10階
〒543-8543
大阪市天王寺区上本町6-1-55
TEL (06)6771-9009
FAX (06)6772-9090
E-mail johnan25@crocus.ocn.ne.jp
HP http://www6.ocn.ne.jp/jonan/
例会場 都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06) 6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会 8月9日(第2例会)

1.卓話 「泡の話」 井上裕貴会員

次週のお知らせ 8月16日(第3例会)

休 会

次々週のお知らせ 8月23日(第4例会)

1.一口健康メモ 今岡 巖会員
1.卓話 「電磁調理器(I.H)について」 赤澤肇一会員

先週の記録 8月2日(第1例会)

1.ゲスト&ビジター(敬称略)
門田昌輝(大阪東) 吉澤秀夫(大阪天満橋)
王祚宝(米山奨学生)

会長報告

慌ただしかった7月のロータリー活動も終わり、8月以降は、じっくりと活動をして行きましょう。7月は識字率向上月間でしたが、ガバナー公式訪問月間となってしましまして、識字率向上に関することは何も出来ませんでした。今月は会員増強・拡大月間になっております。従来のような絶対的な会員増強は言われておりませんので気持ちの上では楽ですが、やはり、クラブが発展していく為には有望な新入会員が入会して頂くことだと思います。本日は、遠田会員増強委員長に卓話をして頂きますがよろしくお願ひ申し上げます。又、先週のロータリーの歴史は如何でしたでしょうか。ポール・ハリスの足跡を話しながら、現在のロータリーにおいて使われているもの、行われていること等の、そのスタートはどうであったかを説明させて頂きました。次回は9月27日(第4例会)を予定致しております。

幹事報告

- 地区クラブ奉仕委員会より「クラブ定款及び推奨クラブ細則について」がきております。井谷規定・情報委員長に回付します。
- 生野区より「生野区青少年ソフトボール大会」の案内が来ております。日時 平成14年9月1日(日)午前9時開会 場所 巽東緑地公園グラウンド 仙田青少年・インターアクト委員長に回付します。
- 東成区より「東成区中学生ソフトボール・キックベースボール大会」の開催に伴う助成についての依頼がきております。大会については次の通りです。日時 平成14年9月1日(日)午前9時開会 場所 大阪市立本庄小学校校庭 仙田青少年・インターアクト委員長に回付します。
- 地区インターアクト委員会より「地区インターアクト委員長会議」の延期の連絡。2002~2003年度インターアクト海外研修結団式の案内 集合日時 2002年8月3日(土)午前9時30分 集合場所 関西国際空港4階国際線出発ロビー「日本航空カウンター」前 仙田青少年・インターアクト委員長に回付します。

社会奉仕委員会

委員長 三木 敏裕

「ダム・ゼンタイ」国連支援募金の協力依頼が参っております。当クラブも、皆様方の浄財を集め、地区を通じて財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターへ寄付金を送る予定でございます。少しでも多くの寄付をお願い致します。募金先の乱用防止センターでは、国連に寄付をされ、国連薬物乱用根絶宣言(1998年～2008年)の支援事業に使われます。

ロータリー財団・米山奨学委員会

副委員長 坂本 孝司

第1回クラブGSE(研究グループ交換)委員長会議が、7月27日、薬業年金会館で、井上ガバナー他、地区役員出席のもとで行われました。2002年9月13日～10月14日、第1050地区(英国イングランド北西部)に中西和也(千里メープルRC)団長他4名が派遣されることが決定しています。受入れは2003年3月21日～4月20日で1Mの組み分けに従って4チームが各1週間担当します。7・8組は第4週担当です。又、大阪城南RCは、7・8組の副実行委員長クラブとなっています。受入れ時には、ホストファミリーをよろしく御願致します。

規定・情報委員会

委員長 井谷 齊
情報担当 佐伯 為次

本年はRI、地区ともにロータリーの原則を再認識することが語られております。したがって「ロータリーの原点に返って」を念頭におき、又それぞれの理解月間(奉仕月間)には相応しい情報を提供します。会員の皆様、特に新しい会員方がロータリーを理解、認識していただく一助となれば幸いです。共に勉強させて頂き、自分のクラブで、自分の職場で、自分の地域社会で、又世界中で「慈愛の種を播きましょう」

5分間ロータリー情報 日程表

上半期	8月23日	9月13日
	10月11日	11月8日
下半期	2月21日	3月14日
	4月18日	5月16日

(事情により日程は変更することがあります。)

転居のお知らせ

岡本(克)会員がこのたび大阪市都島区に転居されました。



「ロータリーの歴史 - ポール・ハリスを追って」
会長 朝倉 良

(前文)

私が入会させて頂いた頃は、ポール・ハリスの名前はいつも聞かされてきました。ところが、ある時期よりロータリーを親睦が多くを占めるようになり、ロータリーの哲学を話すことが少なくなりました。必然的に新入会員にとってもロータリーの本質を知る機会がない状態が続いておりました。新入会員オリエンテーションや新入会員を対象にしたロータリー勉強会においてもロータリーの歴史に始まるロータリーの本質ではなく、いきなり現時点でのロータリーでの処し方が情報として提供されるようになってきました。また、ロータリーの変化も見過ごすことは出来ません。本年はロータリーの歴史、ロータリーの哲学を会員の皆さまと勉強し直して行きたいと考えております。

(ロータリーの誕生)

「最初のロータリー会合は典型的な事務室で催された。それはあまり照明の良くない、机が一つ、イスが三つ四つ、隅の方にコート掛が一つ、それに絵が12枚と工作図が一つ壁に掲げられた小さな部屋だった。」それは鉦山技師、ガス・ローアの事務所だった。そしてガスが一人の訪問客、ハイラム・ショーレーという裁縫師を迎え入れたばかりの時だった。ハイラムは堅型の椅子の一つに腰をおろして、ガスと話し始めた。最初は通例のなげなげな話で始まったが、まもなく彼らの話は友人の弁護士が数ヶ月も前から始終論じていた構想のことに移って行った。その弁護士の名は**ポール・ハリス**と言ったが、彼は一つの新しい種類のクラブの構想を持っていた。ガスとハイラムはもう二人の訪問客、石炭商のシルベスタ・シールとほかでもない**ポール・ハリス**その人、を待っていたから、今晚もまたその問題を論じ合おうと言うのであった。「やがてその二人が部屋に入ってきた。彼らは一つ二つ面白い経験談を交わした後、ポールが新しいクラブの構想を発表した。彼は、もし一群の実業家たちが定期的に会合してお互いに知り合うことが出来たら大変良いだろうと説明した。実業人も必ず心からの友人になれることを熱心に説き、まず職業の違う者が定期的に集まったら、と言った。一つの**職業から一人なら競**

争も無いというのである。かくして1905年2月23日に**ロータリーが誕生した**のであった。「ポール・ハリスの達者な頭脳と寂寥の心から一つの構想が生まれていた、その構想は彼を取り巻く三人の想像を刺激した。もっとも偉大な理念だと考えられたこの構想は、この人たちに多大の刺激を与え、この2月の一夜、既に小さな夢を胸に描かせたほどであった。とはいえ、このシカゴの、みずばらしい事務室の中で動き出したこの構想が他日世界中の人々の心を捉えようとは、この人たちが夢想だにしないことだった。」これはあらゆるロータリーの文献を通じてもっともよく知られている話の一つでありましょう。この話は、多少の枝葉の相違はあっても、繰返し繰返し語り草となった話で、「**奉仕の冒険**」と題する書物への引用です。1905年2月23日と言えば、当時、日露戦争が戦われており、15日後には奉天会戦、3ヵ月後には日本海海戦で日本の勝利が決定的となった時期です。翌日の2月24日に、ポール・ハリスは印刷屋のハリー・ラグルスに賛成を求め、不動産屋のウィリアム・ジェンセンも加わり、3月9日、シールの事務所を置き、6人でスタートし、3月21日、シールを会長とし、ジェンセンが幹事、ショーレーが記録係、そしてラグルスが会計ということで、ともかくクラブの形だけが整えられました。

その頃のシカゴは1871年の大火の傷跡未だ癒えず、さらに、万国博覧会後の惨憺たる恐慌にうちひしがれて、「悪徳と腐敗の街」と言われていました。この集まる、初めはただ友情を深め、互いの仕事を助け合おうというものに過ぎませんでした。クラブの名も初めは「ブースター」と言われていましたが、やがて**各自の仕事を見聞するため、会合を回り持ちにしてきたことから「ロータリー」と名付けられ、隔週1回会合して新聞記事を読みあつたりラグルスが歌を歌うことを始めた**りしていましたが、後に会員も増えて、食事を共にということになり、回り持ちも不便となって、**会合にはレストランが用いられるようになり、**1905年6月の第2木曜日にシャーマン・ハウスで開かれました。

最初の定款が出来たのは1906年1月で、 会員の職業上の利益の増進、親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進、をその目的としていましたが、その年のうちにシカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞することが加えられました。ポール・ハリス自身は2年後まで会長になるのを遠慮していましたが、クラブを常に、はつらつと動かしていく為には工夫が必要だと言って、**会員資格を1年ごとに切り、**その成績で次の年の会員を決めることにしていました。間もなく、**欠席を4回以上続けるか、半年間の出席率が60%に満たない時には会員資格が失われる**ことに変更されました。

ポール・ハリスは2年後にようやく会長になりましたが、この時、初めて同様のクラブを他の都市にも持ちたいと考えたのです。そして1908年、同じ目的、規約を持つクラブがサンフランシスコに出来たのですが、これは大変若い法律家のホーマー・ウッドの努力によるもので、ウッドはその翌年にはオークランドに、引き続きロスアンゼルス、シアトル、ニュー

ヨーク、ボストンなどの設立にも手を貸しています。そのオークランドのクラブが、**週1回、規則正しい午餐会を始める規約を決めたのです。**

ロータリーの記章も1906年に馬車の車輪が用いられたが、1912年に歯車の形が採用され、1924年に**24枚の輪歯と6本の軸および一つの楔穴(くさびあな)を有するものが制定されました。**

(ロータリーの発展)

1908年1月、チェスリー・ペリーがシカゴクラブに入ってきましたが、彼は1910年から1942年に70歳で辞めるまで32年間、国際ロータリーの幹事、事務総長を務めたのでした。ポール・ハリスは「もし私が本当にロータリーの設計者と呼ばれるものならば、チェスリー・ペリーこそ、本当にその施工者と呼ばれるべきものである」と言っています。このペリーが司会して、14クラブの代表者を含む60人がシカゴのコングレスホテルに集まって、全米ロータリークラブ連合会が出来たのが、1910年8月でありました。当時既にアメリカ合衆国内に結成されていたクラブ数は16、会員数は1,800人でした。この連合会の会長はポール・ハリス、幹事はチェスリー・ペリー、そして事務所はペリーのいたファースト ナショナル バンクビルに置かれ、これが**ロータリーの組織方針およびプログラムの開発、発展の発端となりました。**また、その時**最初の定款細則が採択され、ここがそれから長い間、国際ロータリーの本部となったのです。**

特別の重要性を持つ二つの貢献が討議の中から生まれました。シアトルRCは、ビジネスにおける「公正な取引」と「高い水準」の重要性に関するロータリーの考え方を明確にする目的をもって作られた「**綱領宣言**」を提案しました。この綱領宣言はそれと同時に、この新しい組織に向かうべき方向と目的について積極的な意識を与えようとしたのです。

この年、アーサー・シェルドンの演説の一節から

“ He profits most who serves best ”

(**最も良く奉仕するものは、最も多く報いられる**)

が生まれ、ポートランドの大会でのフランク・コリンズの言葉から、“ Service Not Self ”が自己否定が強すぎるとして、後に“ Service Above Self ”(**超我の奉仕**)と改められたものができて、この2つが**非公式ながら、ロータリーのモットーとなったのです。**

1910年、初めて国境を越えてカナダのウィニペグにクラブが生まれ、翌1911年には大西洋を越えてイギリスのロンドンおよびマンチェスターに作られましたが、同時にアイルランドのダブリンとベルファストにもクラブがすでに結成されていました。

これより先、1910年の末、ポール・ハリスは「合理的ロータリー主義」(「友」2001年1～2月号に掲載)と題する論文を書き、それにペリーが2～3の記事を加え、**8ページのタブロイド版の「The National Rotarian」を1911年1月に配布したところ、大変好評で、更にポートランド大会への出席勧誘の記事を載せた第2号を出したのですが、それによって、**